

0x006D

関数名	ErrorMessage	関数概要	エラーメッセージの表示処理
入力コードに対応したエラーメッセージをポップアップ表示します。			
コーリングシーケンス			
int ErrorMessage(intcode);			
in	code	入力コード(他の関数の戻り値を入れます)	
戻り値	EXIT_SUCCESS	正常終了	
	EXIT_FAILURE	エラー	
処理内容			
【関数の説明】			
・他の関数の戻り値を入力して、対応するエラーメッセージをMessageBox関数でポップアップ表示します。			
・ライセンスが失効している場合は“License has been revoked.”と伴にエラーコードを表示します。			
・その他の場合にはエラーコードのみを表示します。			
・ライセンス失効時の戻り値はEXIT_FAILUREです。			
・入力コードがEXIT_SUCCESSの場合の戻り値はEXIT_SUCCESSです。			
・その他の入力コードの場合の戻り値はEXIT_FAILUREです。			
備考:			
本関数は、必須ではありません。			

0x0072

関数名	gnInit	関数概要	鮮鋭化のための初期化処理
USB dongleのライセンス認証を実行して、鮮鋭化に必要な各種係数を計算します。			
コーリングシーケンス			
int gnInit(int mode);			
in	mode	初期化のモード	
戻り値	EXIT_SUCCESS	正常終了	
	0x00550001	USB dongleの検出エラー	
	0x00550002	USB dongleのオープンエラー	
	0x00550003	USB dongleの読み込みエラー	
	0x00570003	USB dongleの書き込みエラー	
	0x00580001	license_info.txtファイルエラー	
	0x00B50002	ライセンス失効	
	0x005A0004	ライセンスの初回起動時のみ	
	0x005E0001	アロケーションエラー	
	0x005E0002	アロケーションエラー	
処理内容	【関数の説明】 ・mode = D_MODEはDiscoveryMode（ノンブラインド）。mode = R_MODEはRING Mode（ブラインド）。 ・USB dongleを検出して認証処理を実行します。 ・鮮鋭化用のフィルタ生成に必須の各種係数を計算します。 ・鮮鋭化に用いるFFTの係数をテーブル化します。		
備考: プログラム開始時に1回だけ実行してください。			

0x0074

関数名	gnFree	関数概要	メモリの解放処理
gnInitで確保したメモリ領域を解放します。			
コーリングシーケンス			
void gnFree();			
戻り値			
処理内容	【関数の説明】 ・gnInitで確保したメモリ領域を解放します。		
備考: プログラム終了時に1回だけ実行してください。			

0x00EA

関数名		gnDiscovery2	関数概要		鮮鋭化処理
double型配列in_imgに対してDiscoveryModeの鮮鋭化処理を実行してdouble型配列out_imgを出力します。					
コーリングシーケンス					
int gnDiscovery2(int radius_int, int width, int height, double *in_img, double *out_img);					
in	radius_int	鮮鋭化の強度パラメタ			
in	width	入出力画像の幅			
in	height	入出力画像の高さ			
in	*in_img	入力配列			
out	*out_img	出力配列			
戻り値	EXIT_SUCCESS	正常終了			
	0x00610001	パラメタエラー (radius_int値)			
	0x00610005	ライセンス失効			
	0x00760001	パラメタエラー (width値)			
	0x00760002	パラメタエラー (height値)			
	0x00760005	アロケーションエラー			
処理内容					
【関数の説明】					
・double型配列in_imgに対して鮮鋭化処理を実行してdouble型配列out_imgを出力します。					
・in_img, out_imgは2次元配列ですが、in_img[i+j*width], out_img[i+j*width]と表現されていることを想定しています。					
・in_imgとout_imgは異なる配列として定義してください。					
備考:					
gnInit()をD_MODEで呼び出している状態で実施してください。					

0x00EB

関数名		関数概要
gnRing1		鮮鋭化処理
double型配列in_imgに対してRING Modeの鮮鋭化処理を実行してdouble型配列out_imgを出力します。		
コーリングシーケンス		
int gnRing1(int radius_int, int width, int height, double *in_img, double *out_img);		
in	radius_int	鮮鋭化の強度パラメタ
in	width	入出力画像の幅
in	height	入出力画像の高さ
in	*in_img	入力配列
out	*out_img	出力配列
戻り値	EXIT_SUCCESS	正常終了
	0x00610001	パラメタエラー(radius_int値)
	0x00610005	ライセンス失効
	0x00D20001	パラメタエラー(width値)
	0x00D20002	パラメタエラー(height値)
	0x00D20005	アロケーションエラー
処理内容		
【関数の説明】		
・double型配列in_imgに対して鮮鋭化処理を実行してdouble型配列out_imgを出力します。		
・in_img, out_imgは2次元配列ですが、in_img[i+j*width], out_img[i+j*width]と表現されていることを想定しています。		
・in_imgとout_imgは異なる配列として定義してください。		
備考:		
gnInit()をR_MODEで呼び出している状態で実施してください。		